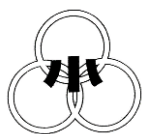


学校通信



みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和元年11月13日発行
 筑前町立三輪小学校
 所在地：筑前町新町400
 TEL：0946-22-2215
 文責：校長 東野 正美

青い空は青いままで

11月1日(金)、2日(土)の1泊2日で、6年生が長崎に修学旅行に行きました。

初日は長崎原爆資料館を見学した後、原爆落下中心地で平和集会を行いました。そこで、児童会代表による「平和の誓い」を行い、全校のみんなで作った折鶴を献納しました。そして歌った『青い空は』。この日は、青い空が本当に美しかったです。

子ども達と歌を歌いながら、74年前の8月、この上空500メートルの地点で原子爆弾が爆発したのだと思うと、胸がつまる思いでした。歌詞にあるように「青い空は青いままで 子ども等に伝えたい」と強く思いました。



原爆落下中心地で「平和集会」を

その後、当時6歳の時に被爆体験をされた城さんからの講話をお聞きました。城さんからは、「自分が受けた苦しみを、みなさんに、人類に味わわせたくない。自分達の未来を自分達で決めることができるように勉強してほしい。」というメッセージをいただきました。



さぐるガイドさんと
平和フィールドワーク

将来の「食の自立」に

8日(金)に、三輪小「お弁当給食」を行いました。ご飯やおかずを彩りよくお弁当に詰める子ども達の嬉々とした表情がとても素敵でした。「食の自立」とは、子どもが食材を「選んで」、「調理して」、「片づける」、こうした一連の作業ができるようになることを言うそうです。「お弁当給食」も、子ども達の将来の「食の自立」につながる取組だと感じています。

「人権の花」閉級式

人権擁護委員さん、人KENまもる君、あゆみさんと3年生が「人権の花ひまわり」の閉級式を行いました。学校ホームページの「あいさつ」にも内容を紹介しています。



☆「みわ道」の子☆

7日(木)15時40分頃、地域の方から学校に電話が。

「めくば一で荷物を降ろしていると、三輪小の子が自分から手伝ってくれました。大変感激しました。素晴らしい子なので、電話しました。」

自分から手伝うという行動を起こしたみわっ子の優しさは勿論ですが、そのことを学校に知らせて下さった地域の方の子どもを見守る暖かい眼差しにも心を打たれました。「みわ道」の見守るアイ☆

11月5日から、児童会を中心に「赤い羽根募金」の活動を行っています。11号に書いていたように、この募金は、日常生活支援や地域の福祉事業に使われると共に災害対応・防災にも使われています。月曜日の朝は、児童会の子が昇降口に立って募金の呼びかけをしてくれています。是非皆様のお気持ちを、よろしく願います。

